

# 子育てサロン わくわく南台 クリスマス会開催



コロナ禍のために長い間お休みしていた『わくわく南台』。9月から活動を再開し、12月20日(水)には、4年ぶりにクリスマス会を開きました。

小人数の和やかな雰囲気の中、子どもたちは、マットの上に広げられた玩具で思う存分遊び、子どもどうしで楽しくやり取りしていました。その様子を周りで見守る大人たちも親どうしのおしゃべりを楽しんでいました。

子どもの乳幼児期は、山のような家事労働があり、心身ともに疲労がたまりがちです。

忙しい合間に、親子でぶらりと出かけて、ホッとするひとときを楽しんでみてはいかがでしょうか。



# 大盛況の「福祉まつり」

昨年10月21日(土)、相模台地区社会福祉協議会主催の「福祉まつり」が開催されました。私たち児童・障がい者部会は例年通り『射的』で参加しました。

子どもたちに楽しんでもらおうと、景品(お菓子と風船)も用意しました。

開始早々から盛況で、用意した景品も終了予定の1時間前には底をつき、早々に店じまいとなりました。



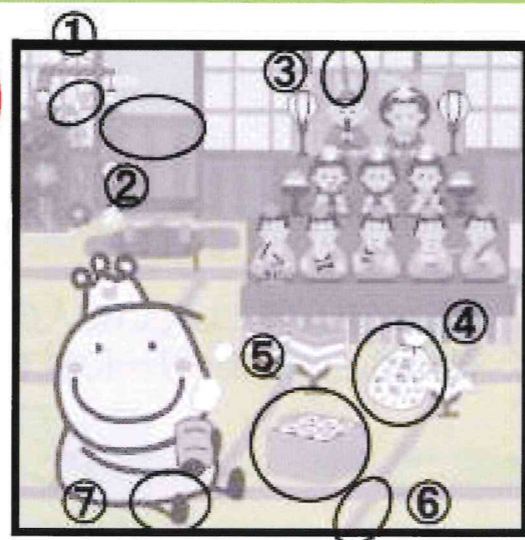
子どもたちは混雑の中でも、順番を守って、混乱なく楽しんでいました。



射的(ま)で〜す

児童・障がい者部会では  
こんな活動を計画しています。

- 子育て情報紙「ぴよぴよ」の発行  
子育てにまつわる情報を年2回  
お届けします。
- 講習会の開催
- 福祉まつり「こどもコーナー」  
射的で遊びましょう♪
- 障がい者関連施設等の見学・研修



- ① 飾り雛の団子の色が反対になっている。
- ② 外の塀の高さが高くなっている。
- ③ お内裏様の帽子が長くなっている。
- ④ 「あられ」の袋の表示が「あれれ」になっている。
- ⑤ 重箱が重なっている。
- ⑥ 畳の緑の位置が違う。
- ⑦ 「にこまる」の右足の長さが違う



ボク「にこまる」  
おひなさまはやっ  
ぱりきれいだよ。ね。  
右の絵にまちがいが  
7つあるから、  
さがしてみてね！

(正)

(誤)

答えは裏に  
あるよ



# 補助犬ってなあに？

～見て、知って、学ぼう～



もう一人の講師は訓練士の中岡さん。  
抱っこされているのが聴導犬

聴導犬は小型犬も活躍。  
実はこの子、まだ訓練中。

## 介助犬の実演

落とし物を拾って、膝の上まで持って来てくれます。



昨年(2022)の11月23日(木・勤労感謝の日)、『補助犬ってなあに』と題して、児童・障がい者部会主催の講習会を実施しました。

小学生・幼児11名と27名の大人(保護者を含む)の方にも参加していただきました。講師には「公益財団法人『日本補助犬協会』」のお二人をお招きし、盲導犬・聴導犬・介助犬にも一頭ずつ参加してもらいました。

## 講師のお二人と3頭の犬の紹介からスタート



向かって左が盲導犬、  
抱かれているのが聴導犬、  
右が介助犬。

- 盲導犬 ⇒ 視覚を補う
- 聴導犬 ⇒ 聴覚を補う
- 介助犬 ⇒ 動作を補う



主催者の挨拶や、講師の説明中もおとなしく待っている3頭。

協会の理事を務めている講師の青木さんは実際の盲導犬ユーザー。経験談を交え、現状や課題など中身の濃いお話を楽しく伝えてくださいました。

外出時、補助犬は(補助犬であること)の表示が入ったベストを着用。  
盲導犬はハーネス(取っ手)もつけています。



盲導犬候補となる仔犬の多くは盲導犬に適した気質が受け継がれているようです。しかし、それでも訓練して盲導犬として働けるのは30%程の狭き門!

**尚、出会った時に補助犬にさわったり、声をかけるのはやめましょう。**

## 介助犬を体験

落とたものを拾ってもらいました。



## 盲導犬を体験

目をつむって、誘導してもらいました。



補助犬を必要としている人の数に対して、実際に利用できているのはごくわずかです。補助犬とそのユーザーに対する理解を深める必要があると痛感しました。

## アンケート紹介(抜粋)

- ・補助犬は体などが不自由な方たちを守っていることがわかった。
- ・とても詳しく教えてもらってとても楽しかったです。今度、盲導犬などを連れている人がいたら、ちょっとでもお手伝いしたいと思いました。
- ・また、こういった企画をやってほしいです。適当な大人になってはいけません。
- ・実際のユーザーさんの言葉が聞けて良かった。
- ・補助犬の役割や出会った時にやってはいけないことなど大変勉強になりました。